

# だっこするよ

2022年12月

社会福祉法人茂原高師保育園  
北区立赤羽台保育園  
園長 奥戸 昌子



## 保育園は子育て共同体 217名のサポーターになろう！

落ち葉の散歩道、歩く度にカサコソと心地よい音が聞こえます。紅葉が見事ですね。園では、大きくなったねの会にむけてゆっくりと取り組みが行われています。いろんなクラスに観客になってもらって、感想を伝え合っ  
てエールの交換をしています。とても楽しそうです。

さて、先月の4、5歳組の焼き芋パーティーでは2日間で70人の保護者の方にご参加いただき誠に有り難う  
ございました。リーピーターが多いのも嬉しいです。私たちのSDGs=燃やす資源となるもの(廃材、拾い集め  
た小枝、ミカンの皮、牛乳パックなど)を自分たちで資源を集めて行う焼き芋パーティー。「火」は調理や暖を  
とるなど、生活する上で必要な道具ですが、子どもが「火」を見ることは少なくなっています。「火」を学び、  
焼いて食べる体験は、生きる基礎だと思えます。自分たちで枝を組み、火をつけて燃やし、燃え盛り、そして薪  
が熾火(炭)となり、芋を熾火の上で焼く…燃えて移り変わっていく「火」に気付き不思議そうにしている子  
もいました。今年、全炉を使い、4、5人の小グループで行ったことで、より自発的に取り組むことができました。  
子どもたちの感想です。「火が熱かった」「火がついたときドキドキした」「お芋が美味しかった。いっぱ  
い食べたよ」と嬉しそうに話してくれました。「火」を前にして全身の感覚神経で感じてくれたと思えます。

そして、キャンプネームで呼び合い、大人がイベントを楽しもうとする姿を見せてくださった保護者チーム。  
指示語や否定語を使わず、子どもの意思を尊重すること、上手な聞き役であること、今日一日を楽しむ案内ガイ  
ドになって欲しいという私の願いをしっかりと理解して動いていただきました。思いっきり走り、遊び、その場  
にいるみんなが共育者でした。火起こしの場で、子どもを信頼して励まし、手を出さなかった姿、しっぽ取りを本  
気で頑張った皆さんの勇姿、こんなに嬉しい愛情はありません。子どもは本気で向き合っ一緒に遊んでくれる  
人間が大好きです。一番嬉しいんです。みんなで大きな一つの輪となったわらべうたも感動でした。皆さん、そ  
して職員に感謝の気持ちでいっぱいでした。有り難うございました。

・園長からの事前に焼き芋パーティーのねらいだったり、ボランティアの動きの説明を聞いて、毎日保育園が  
行っている保育の根本を改めて感じることで感動しました。まず芋を掘りに行ってさらには火を使って  
自分で焼き芋を焼こう！なんていう素敵な行事をさせてもらって幸せな子ども達だなあと思えます。

・『子どもにやらせる・考えさせる、否定しないで誉める』と最初の会で言われ、分っていても普段できてないと改  
めて考えさせられました。子どもの新たな体験と共に親としても成長できる機会となりました。

いただいたアンケート一部を紹介させていただきました。また、他のご意見も次回へ活かして参ります。

さて、保育指針の保育の内容には「乳幼児期は、現在を最もよく生き、望ましい未来を創り出す力の基礎を養  
う大切な時期である」と書かれています。未来を創り出す力は、今、子どもたちの興味や関心「やりたい!」と  
思う体験から生まれます。大人の価値観の押しつけでなく、知的好奇心をくすぐって世界を知る体験を最大限に  
積ませてあげたいものです。教育は、共育…生きるって面白いよ、知ることは楽しいよという体験がやがて学  
びになります。毎日通う保育園は、子育て共同体、217名の子どもたちを真ん中にして、つながりの中で子育て  
を味わいましょう。子育ての喜怒哀楽も今となると本当に愛おしいです。是非、保護者であり、217名皆のサポ  
ーターにもなってくださいね。みんなで育てる園にしましょう。沢山の大人から愛情を受けた子どもたちは、や  
がて自分から輝き出すと思います。今年もお世話になりました。良いお年を。 写真は、焼き芋パーティーです。